

工業経済学ゼミ（学部）後期の予定について

9月9日

10/1	出版産業論	
10/8	出版産業論	
10/15	（中国出張のため休講）	
10/22	自動車産業論	
10/29	（大学祭のため休講）	
11/5	自動車産業論	
11/12	鉄鋼産業論	
11-19	鉄鋼産業論	
11/25-26	工場見学旅行	
12/3	卒論報告	
12/10	同上	
12/17	同上	
1/7	3年生卒論第1次構想報告	卒業（演習）論文提出期限
1/14	予備日	

内定式等で欠席する者は、至急連絡すること。

工場見学

当初予定していた18-19日は会社側の都合が悪く断られたので、26日とした。

11月25日 横須賀付近に宿泊

11月26日 日産自動車追浜工場（午前）。JFE スチール京浜製鉄所（午後）。

宿泊手配は旅行係が行う。

テキスト

出版産業論

- ・佐野慎一『誰が「本」を殺すのか（上）（下）』新潮文庫、2004年。

必ず買うこと。生協書籍部に10セット注文済。他の書店で買ってもよい。

自動車産業論・鉄鋼産業論

- ・工経ゼミ「日産自動車・NKK 1998年度工場見学・企業研究報告集」『研究調査シリーズ』No.2、工経ゼミ、1994年4月。

増刷して配布する。

- ・藤本隆宏・武石彰「重組立産業（自動車産業）：戦略重視のリーン生産方式へ」（森谷正規編『機械産業の新展開 日本の産業システム4』NTT出版、2003年。

- ・川端望「鉄鋼産業における企業間関係のダイナミズム」（植草益・大川三千男・富浦梓『素材産業の新展開 日本の産業システム2』NTT出版、2004年）。

両論文はコピーを渡すが、関連業界に就職するもの、就職を考えている者などは買うこと。生協に2-3部入荷しておく。2巻は川端に連絡すれば、2割引で買える。

進め方 3年生中心に進める。

出版産業論

10/1：小針が上巻を報告。

10/8：中村が下巻を報告。

課題：要点を短く30分にまとめる。討論点を2、3あげて報告する。

自動車産業・鉄鋼産業も、小針・中村で分担する。どちらがどちらをやるかは、2人で相談して決めること。

課題：ゼミで報告。工場見学の見所を考える。また、見学後に記録を作成する。

司会・新聞記事討論は、欠席連絡を受けてから決める。

参考

森谷正規編『機械産業の新展開 日本の産業システム4』NTT出版、2003年。

- 1 序論：“モノ”づくりの新しいかたち 森谷正規（放送大学教授）
- 2 軽組立量産産業（電子産業） 御手洗久巳（野村総研技術・産業コンサルティング部上席コンサルタント）
- 3 重組立産業（自動車産業） 藤本隆宏（東京大学教授）・武石彰（一橋大学助教授）
- 4 高度部品産業（半導体産業） 御手洗久巳
- 5 生産機器システム産業 吉本陽子（UFJ総研経済・社会政策部産業調査室主任研究員）・齋藤禎（UFJ総研経済・社会政策部研究員）
- 6 社会機器システム産業（森谷正規）
- 7 機械産業の将来（森谷正規）

植草益・大川三千男・富浦梓『素材産業の新展開 日本の産業システム2』NTT出版、2004年。

- 1 序論：本書の目的と構成 植草益（東洋大学教授）・穴山悌三（学習院大学特別客員教授・東京電力企画部）

第1部 繊維産業

- 2 世界と日本の繊維産業 大川三千男（東レ顧問）・平井東幸（嘉悦大学教授）
- 3 繊維産業の市場展開 大川三千男・平井東幸・加藤尚彦（日本ファッション協会ゼネラルマネジャー）・森岡敦美（西川リビング睡眠環境科学研究所技術顧問）・高橋洋（東レ繊維研究所長）

4 繊維産業の技術革新 高橋洋・山崎義一（日本化学繊維協会大阪事業所長兼技術グループ長）

5 世界のファッション産業の発展と展開 尾崎蓉子（ファッション産業人材育成機構 IEI ビジネス・スクール学長）・小林元（文教学院大学客員教授）

6 日本の繊維産業の改革課題 大川三千男・加藤尚彦・足立敏樹（東レ経営研究所繊維調査グループシニアリサーチャー）・平井東幸・山崎義一

第2部 鉄鋼産業

7 日本鉄鋼産業の史的展開 十名直喜（名古屋学院大学教授）

8 鉄鋼産業における企業間関係のダイナミズム：2大グループ化と国際提携の意義 川端望（東北大学助教授）

9 鉄鋼産業の技術革新 富浦梓（東京工業大学監事・新日鐵顧問）

10 鉄鋼業発展のダイナミズム：課題と展望 富浦梓